

巻頭随筆 丘の上
四十年前の英語テキスト
光源氏からアンの世界へ

鬘櫛一夫

矢部美智代

我が塾高野球部時代——高校野球百年に想う

渡邊泰輔

7 5 4

特集・ミュージアムの未来

〈座談会〉

個性で輝く美術館

住友文彦／水沢 勉／
本下義之／渡部葉子

10

日本の美術館・博物館がめざす将来

——欧米のミュージアムから学ぶこと

白原由起子

27

OPAM、ヴィーナスの誕生

——「大分世界美術館」、日本のミューゼオロジーに向けて

新見 隆

34

〈関連記事〉

話題の人

伝統企業でイノベーションを起こす

駒村純二さん

インタビュアー 鈴木敏久

40

現代に生きる福澤論吉のことば その104

大久保忠宗

46

KEIO MONO
MUSEUM 74

ナイチンゲール像

解説 山下香枝子

49

演説館

セミプロ研究者のセミ講義

税所康正

52

慶應義塾 第102回
史跡めぐり 三田通り周辺

山内慶太

56

三人閑談

魅惑のキューバ

小田敏文／工藤多香子／SHEILA

60

慶應義塾は戦争の歴史を語りうるか?——「慶應義塾と戦争」アーカイブプロジェクトの試み

都倉武之

74

Researcher's Eye

福島復興——もう一つの挑戦

工藤敏隆

9

授業の後で

宮代康文

48

「超!? 介入研究」と慶應スノーキャンパ

添田英津子

73

塾員クロスロード

花が織成す「感動」「歓び」「癒し」
未知を知る雑誌ナシヨジオ

落合邦子
武内太一

103

執筆ノート

『命の響』——左手のピアニスト、生きる勇気をくれる23の言葉

舘野 泉

81

『死者の軍隊』——連合赤軍の彼方に

金井広秋

82

『多数決を疑う』——社会的選択理論とは何か

坂井豊貴

83

『死別の社会学』

賢(共編)

84

『風はなぜ吹くのか、どこからやってくるのか』

杉本憲彦

85

社中交歓

終戦の日

高橋よし子／芹澤 宏／田中稀一郎／大塚 忠

86

時は過ぎゆく

三味場の思想、あるいは、詩が小説をつつむこと——追悼 車谷長吉

前田富士男

88

ヒサクニヒコのマンガ何でも劇場(特別編) 鳥がいなかったら人類は猿のままだった?

ヒサクニヒコ

91

追想

塚田裕三先生を偲んで
寺尾誠君を偲ぶ

岡野栄之
大島通義

105

KEIO Report

信濃町新病院棟建設プロジェクトの進捗について

渡辺真純

106

口永良部島ふるさと支援プロジェクトの活動——大噴火を乗り越えて

長谷部葉子

109

寸描(深谷昌弘) 7
寄付・維持会申込者芳名

山上広場 94

塾長室日誌(平成二十七年六月) 96

塾内ニュース 99

三田会だより

112

表紙絵から

128

原絵▼阿部慎蔵 本文カット▼阿部慎蔵・ヒサクニヒコ 口絵写真▼石戸晋、井上悟ほか 本文写真▼渋川豊子ほか 表紙デザイン▼巖谷純介
表紙絵▼清川泰次 黄色の浮遊(一九六一・一六三)(所蔵 世田谷美術館)